

バイオスタウン構想分析DB

[【リンク】須崎市バイオスタウン構想](#)

公表回	公表年月日	構想見直し		都道府県名	市町村名	人口	面積
		公表回	公表年月日			(人)	(km ²)
24	2008.3.31			高知県	須崎市	26,188	135.46
構想の要約		須崎市は平成17年4月11日に内閣官房都市再生本部から「地球温暖化対策・ヒートアイランド対策モデル地域」に選定され、平成18年に須崎市地域新エネルギービジョンを策定しており、間伐材や地域未利用材を活用した取り組みが始まっている。この構想では、未利用・低利用の製材残材および間伐材や林地残材等の積極的なエネルギー利用を図り、これらの地域資源を活用した循環型社会の構築を目指すものである。					
構想に盛り込まれた事業		木質バイオマス利用促進プロジェクト 菜の花プロジェクト 農産物残さバイオマスプロジェクト 燃料電池導入プロジェクト					
バイオマス利活用目標		添付別紙参照					
24		添付別紙参照					

利用するバイオマス				
廃棄物系バイオマス		未利用バイオマス		資源作物
家畜排せつ物	○	稲わら・もみがらなど		資源作物
農業系廃棄物(廃菌床など)		野菜等非食部	○	
食品廃棄物		間伐材・林地残材	○	
廃食用油	○	果樹剪定枝		
水産加工残さ		竹材		
製材工場等残材	○	その他()		
建設発生木材				
街路樹・公園・家庭剪定枝、刈草				
古紙・廃棄紙				
下水汚泥など	○			
その他()				

利用するバイオマス変換技術			
マテリアル利用のための変換技術		エネルギー利用のための変換技術	
堆肥化(土壌改良材・肥料を含む)	○	バイオガス化(メタン発酵)	○
飼料化		直接燃焼	
バイオマスプラスチック製造		ガス化	
その他()		炭化	
		固形燃料化(チップ・ペレット・RDFなど)	○
		バイオディーゼル燃料化	○
		バイオエタノール化	
		その他()	

バイオスタウン実現に向けた取組の進捗状況	
記入年月日	記事

実現した事業	添付別紙参照
--------	--------

バイオマス利活用目標
(バイオマスタウン構想書からコピー)

バイオマス	賦存量	炭素換算 賦存量	変換・処理 方法	仕向量	炭素換算 利用量	利用・販売	利用率
(廃棄物系バイオマス)		11,974.5 t			11,010.7 t		92
製材廃材	43,090 t	9,597	チップ、ペレット、破砕	39,198 t	8,730	燃料	91
家畜排泄物	731 t	43	堆肥利用、メタン発酵	731 t	43	自家利用(水稲、飼料作物、ミョウガ等)、燃料	100
生活排水汚泥	9,800 t	940	メタン発酵	8,820 t	846	燃料	90
廃食用油	40 k l	28.5 k l	BDF変換	36 k l	25.7	燃料	90
可燃ゴミ	7,224 t	1,366 t	固形燃料化(RDF)	3,904 t	1,366 t	燃料	100
(未利用バイオマス)		4,608 t			2,012 t		44
林地残材	7,108 t	1,583 t	チップ、ペレット、破砕	3,605 t	802 t	燃料	50
農産物収穫残さ(水稲、ミョウガ、キュウリ、ダイコン、サヤインゲン、カンショ、シヨウガ)	10,568 t	3,025 t	堆肥化、乾燥	4,227 t	1,210 t	堆肥、燃料	40

バイオスタウン構想概要図

(バイオスタウン構想書からコピー)

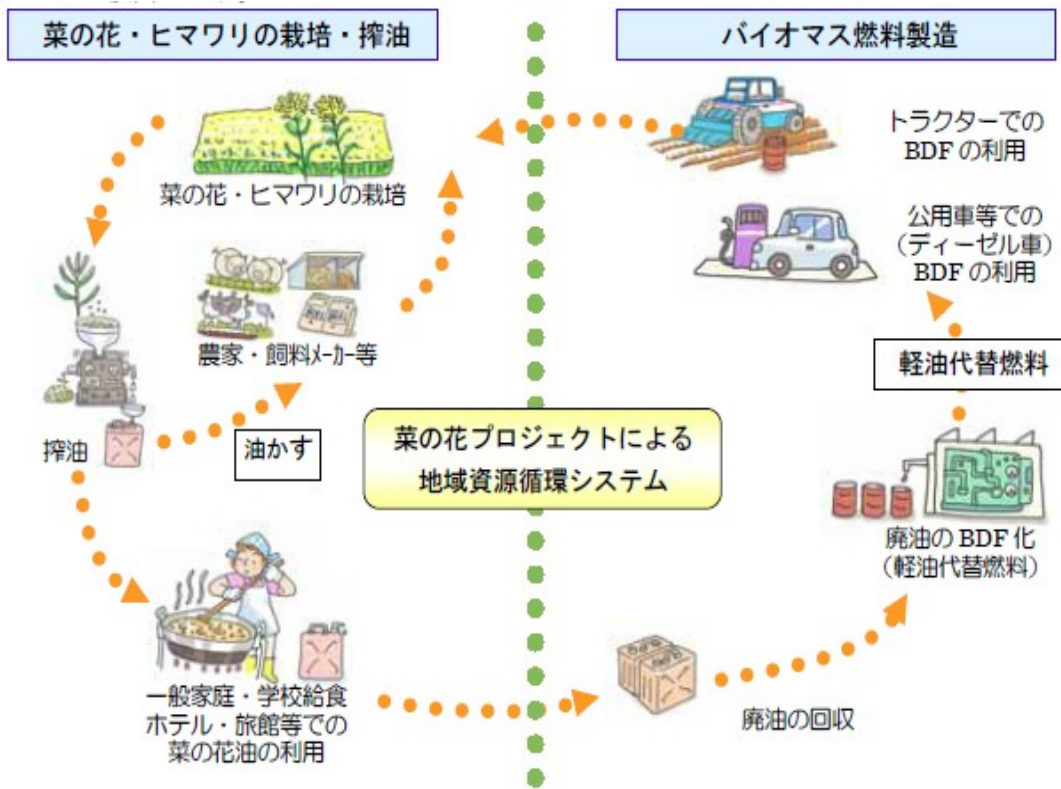
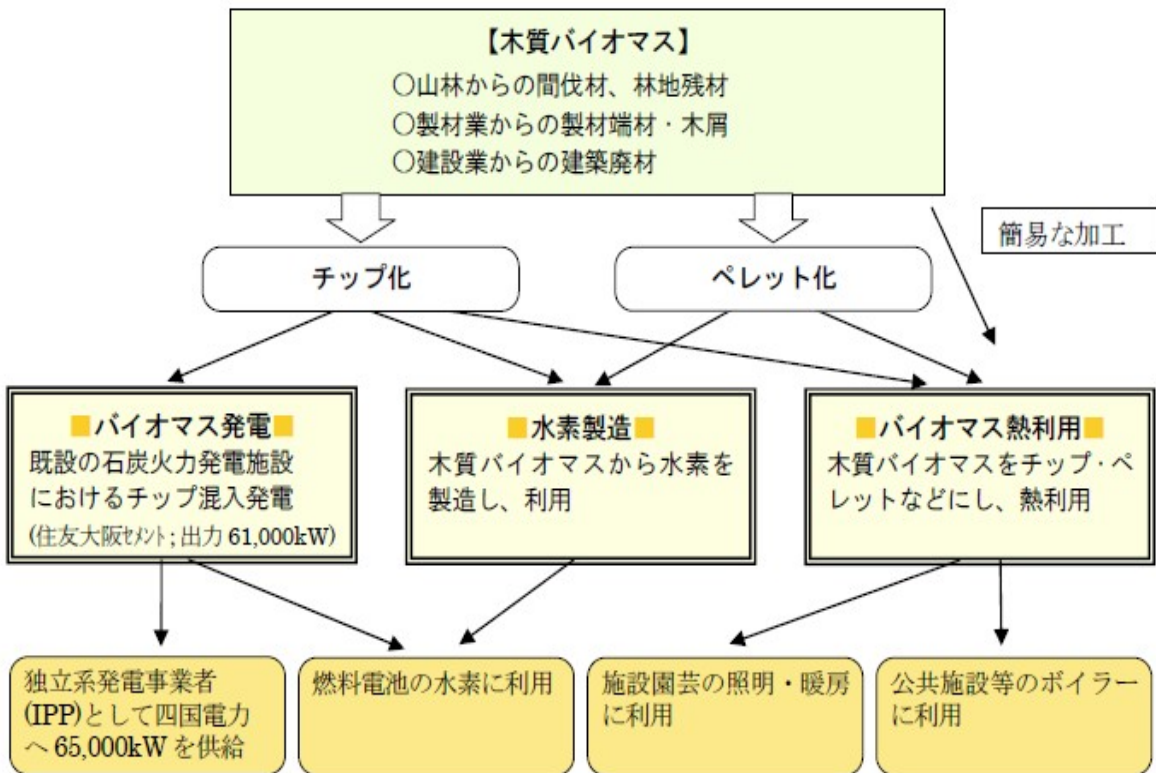


図6-4 菜の花プロジェクトによる地域資源循環システム

実現した事業(その1)

事業の名称	
事業者名	
事業所名	
住所(施設の所在地)	
利用するバイオマス	
利用する変換技術	

事業の概要	<p>添付別紙(パンフレット等)参照</p> <p>(事業形態、事業構成メンバー、出資比率、事業開始時期、施設の概要、プラントメーカー、建設業者、イニシャルコスト、ランニングコスト、原料単価、製品単価、経営状況、事業運営の課題、成功・失敗要因など記入)</p>
-------	--